平成 30 年度 岩手大学公開講座

地域政策入門

ー生活と経済・環境ー

主催: 岩手大学人文社会科学部

後援 : 岩手県教育委員会

盛岡市教育委員会

1. 開講にあたって

岩手大学人文社会科学部は、2000(平成 12)年度設置の法学・経済課程と環境科学課程を、2016(平成 28)年度の全学改組を機に統合再編し、地域政策課程を新設しました。本課程では、法・経済・環境の総合的視点から持続可能な社会づくりの諸課題に取り組み、地域社会に貢献できる人材の養成を目的として教育研究を行っております。そこで今回の公開講座では、高校生・一般市民を対象として、「地域政策」を焦点とする本課程の教育内容を紹介したうえで、地域社会における生活の実態と課題について家族・環境保全の観点から話題を提供いたします。

- 2. 日 時 平成30年7月28日(土)13:30~16:20
- 3. 場 所 岩手大学 図書館2階 生涯学習・多目的学習室
- 4. 受講対象者 高校生(主対象)・一般市民 50名
- 5. 受 講 料 無料
- 6. そ の 他 講座の形式は,講師による講義とそれに関する質疑応答・討論となります。 筆記具をご用意ください。
- 7. 受 付 期 間 平成30年6月20日(水)~7月20日(金)
 - ※学校毎に取りまとめていただいても結構です。その場合には参加者の氏名(ふりがな)・学年と 担当の先生のご氏名・連絡先をお知らせください。
- 8. 申込方法・お問合せ

受講ご希望の方は、下記まで電話、ファックス、Eメールのいずれかでお申し込みください。

岩手大学 三陸復興·地域創生推進機構 地域連携·COC 推進課

電話 019-621-6492 ファックス 019-621-6493 Eメール renkei@iwate-u.ac.jp

申 込 票

(H30 地域政策入門)

ふりがな 氏名	学校名		
八 石	子 仪石	(年)
住所 〒			
電話番号	FAX		
Eメール			

講義内容

- ●13:30~13:35 はじめに-開講にあたって- 開 龍美(地域政策課程長)
- ●13:35~14:15 「政策とは何か、政策と法・経済・環境との関りとは-地域政策について学ぶ前に―」 藤本 幸二(刑法・准教授)

本学部では2016年度に改組を行い、新たに地域政策課程が組織されました。そこでは、法・経済・環境それぞれの観点から地域政策について学修するということになっています。しかし、そもそも政策とは何でしょうか。そしてそれは、法・経済・環境に関する学びとの間にどのような関係を有しているのでしょうか。

英語を学ぶ前にローマ字を知ることが重要であるように、およそ学問にはそれを学ぶための基礎知識が必要とされます。今回の講座ではまず、政策とは何か、および政策と法・経済・環境との間にはどのような関わりがあるのかということについての一般的な説明を行い、後になされる、経済および環境に関する具体例についての講義に対する理解を十全なものとするための基礎的知識を習得していただきたいと思います。

●14:20~15:00「地域経済と生活のリアル」 佐藤 一光(財政学・准教授)

少子高齢社会だといいます。確かに高齢者は多いし、昔と比べたら子どもは少ないのかもしれません。けれども、だから何が問題なのでしょうか。将来の年金がもらえなくなるといいます。しかし、年金をもらうなんてあまりにも先のことで実感が湧きません。ところが、少し視点を変えてみると私たちにとって無関係ではない問題が潜んでいます。賃金や休暇など働く人の権利、18歳までの子どもを育てる費用の補助、そして教育にかかる費用!日本は先進国の中で生活を支える制度が貧弱であると言われています。

今回の講座では、家族に関する制度を中心に分析することで、日本のなんとなく生き辛い状況がどのように出来ているのか考えてみたいと思います。

- ●15:00~15:10 休憩
- ●15:10~15:50 「<企業-NPO> 連携・協働による環境保全-地域も含む3者間の"Win-Win 関係"へ-」 塚本 善弘(環境社会学・准教授)

地域の豊かな自然資源や生活環境を保全し、次世代に継承していく上で、行政や企業、市民等の地域構成主体の連携が欠かせません。2000年前後以降、各地で進められてきた行政、地方自治体と(市民の代表としての) NPO・市民団体との連携だけでなく、近年、大都市圏を中心に、企業とNPOとの連携・協働に基づく環境保全活動・事業が注目され、成果を上げ始めています。

今回の講座では、<企業-NPO>間の連携・協働が注目・実践され、必要になってきた背景、その意義や地域にとっての利点、岩手県内外の成功事例などの要点・概要を紹介することで、今後の環境保全や地域主体連携の可能性と課題を考えてみたいと思います。

●15:50~16:20 質疑応答·討論

【会場案内図】

